

静岡市 いきもの 散歩マップ

丸子城址コース

しょくぶつ

- シャガ**
アヤマの仲間。山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に白色に少し紫がかかった花を咲かせます。
- ニリンソウ**
キンポウゲの仲間です。花期は4～5月です。1本の茎に白色の花を2輪咲かせることが多いです。
- ムラサキケマン**
ケシの仲間。草地や林のまわりに生えています。4～6月に赤紫色の花を咲かせます。
- ホウチャクソウ**
ユリの仲間。林の中に多くみられます。4～5月に緑色をおびた白色の花をつけます。
- キランソウ**
シソの仲間。道ばたに生えています。3～5月に紫色の花を咲かせます。
- ヒガンバナ**
秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間にだけ見られます。全体に毒があります。
- サワハコベ**
ナデシコの仲間。谷すじの林の中で生えています。4～7月に白い花を咲かせます。
- フモトスミレ**
山鹿や丘陵の明るい林や、草地に生えています。4～5月に白色～あわい紫色の花を咲かせます。

- スズカカンアオイ**
葉は楕円形～ハート型をしており、林の中に生育しています。10～2月に暗い紫色の花をつけます。
- ヒトツバタゴ**
20mを超える大きな木、別名ナンジャモンジャノキ。5月に白色の花をたくさんつけ、花が盛んな時期には白い雪に覆われたように見えます。
- ギンリョウソウ**
全体が白く、ユウレイタケともいいます。土の中のキノコのからだの一部に寄生しています。
- ツクシ**
シダ植物で、スギナが早春～春に孢子を飛ばす時の呼び名。春～夏に光合成を行っている時にはスギナと呼ばれます。

むし

- カツオソウムシ**
体長10～12mm程度のゾウムシの仲間。羽化して少しの間は赤い粉におおわれていますが、やがてとれてしまします。
- イタドリハムシ**
体長は8～9mm程度の大型のハムシの仲間。黒い体にオレンジ色の模様が目立ちます。
- ヤマトアザミテントウ**
6～9mm程度のテントウムシで、オレンジ色の地にたくさんの黒い斑点がみられます。おもにアザミの仲間につきまします。
- シズオカオサムシ**
3cmくらいの飛べない甲虫で、つやのある紫がかかった赤茶色をしています。県東部から大井川より東にすんでいます。

アクセス情報

【バスでのアクセス】
誓願寺まで
 1. しずてつバス静岡駅前北口バスターミナル7番線より「中部国道線」に乗車。
 2. 「二軒家 大鈿不動尊入口」にて下車（静岡駅より約25分）。
 3. 北西へ進み、徒歩約5分で丸子城址ハイキングコース入口。
牧ヶ谷まで
 1. しずてつバス静岡駅前北口バスターミナル7番線「牧ヶ谷線」に乗車。
 2. 「牧ヶ谷」にて下車（静岡駅より約25分）。

緊急連絡先

- ・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・ 消防 119番
- ・ 警察 110番

注意事項

- ・ ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・ 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成26年2月

とり・どうぶつ

- メジロ**
全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、目のまわりは白色、胸は黄色になります。
- キセキレイ**
全長20cmくらいの小鳥で、腹部に黄色がまじります。主に山地の川沿いで1年中見られます。
- ホオジロ**
全長17cmくらいで、オスは高い木の上で「チョッピィ、チュ、チュチュリチュー」と鳴きます。
- ノスリ**
中型のタカで、空中でタコのように停止して、地上の餌を探します。翼の下面が白く、扇形の尾が特徴です。
- ヤマガラ**
全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。
- ハクセキレイ**
セキレイの仲間。体の色が灰色で、顔は白い。水辺だけでなく、街中でも見かけます。
- クロジ**
冬鳥として飛来するホオジロの仲間です。名前のようにオスは全体が黒く見えます。地面で種子を探しています。
- イソヒヨドリ**
本来は海岸に住んでいますが、最近街中まで進出しています。虫を主食とし、オスは青い色ですが、メスは地味な色をしています。
- ジョウビタキ (オス)**
全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。
- セグロセキレイ**
全長21cmくらいの小鳥で、頭から背中にかけて黒色です。主に水辺で1年中見られます。
- カシラダカ**
冬鳥として飛来するホオジロの仲間です。頭の後ろの羽が逆立っています。
- タゴガエル**
体長4～5cmくらいのアカガエル。沢や水の湧き出ししている崖などで卵を産みます。
- ジョウビタキ (メス)**
メスはオスに比べて地味な色合いをしています。
- ミゾゴイ**
夏鳥として日本の森にわたってくる茶色のサギの仲間です。最近数が減り、絶滅が心配されます。
- アオジ**
夏は高原などで繁殖し冬は低地に移動するホオジロの仲間です。オスは名前の通りくすんだ緑色をしています。
- カジカガエル**
山地の清流に住み、平たい体をしていて、石の上などで、澄んだ特徴のある声で鳴きます。

チョウ

- ナガサキアゲハ**
10cmをこえる大型のチョウで、尾のような突起がありません。ほかのアゲハチョウの仲間のように、幼虫はミカンの仲間を食べます。
- ツマグロヒョウモン**
住宅の庭や公園のほか、山の頂上でよく見られます。幼虫はパンジーなどスミレの仲間を食べます。
- アサギマダラ**
大型のチョウで、フワフワと飛び、春に南から北の山地へ、夏に北から南の低地へ2世代で移動します。
- ウラギンシジミ**
裏が銀色のやや大きなシジミチョウの仲間。はねの先が尖っています。初夏と秋に発生し、成虫で越冬します。
- クロコノマチョウ**
大型のジャノメチョウの仲間。暗い雑木林の中にいて、はねの裏面は枯葉に似ています。初夏から秋に発生し、成虫で越冬します。
- コジャノメ**
はねの裏の帯が紫色をしているのが特徴で、暗い森の中にすんでいます。成虫は5～9月に見られます。
- モリアオガエル**
体長4～8cmで暗褐色や緑色をしています。「コロコロ、コロコロ」と鳴き、池の上の樹に泡のような卵を産み付けます。
- モリアオガエルの卵塊**
モリアオガエルはオスとメスで、水上の木の枝に泡状の卵塊を作ります。この中には300～800個の卵があります。

メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

